

平成26年発行 電気装置整備テキスト

【正誤表】

平成27年8月1日

ページ	段落	誤	正
目次13	10)	コモンレール式ディーゼル	⇒ジーゼル
P 23	1-9 1)-(1)③	光を当てると抵抗が変わったり、 交流電源に接続すると発光する	⇒光を当てると抵抗が変わったり、電 源に接続すると発光したりする
P 49	左上の図	救援車のバッテリーのボディ部分 がない	⇒ボディ部分を追加
P 52	2-6 1)-(2) 3行目	科学雑巾	⇒化学雑巾
P 68	(2)-②・(b)	勝れている	⇒優れている
P 74	上図の回路	フィールド電流	⇒フィールド電流
P 74	(2)-① 1行目	電圧が加わるのでこれに	⇒これを
P 78	3-4 1)-(1)	セグメントコンダクタ	⇒セグメントコンダクタ
P 98	②作動 M:2 行目	リードを接続する	⇒リード線を接続する
P102	4)性能テスト	スタータの性能テストには、次の ようなテストがある。	スタータの性能テストには、次のよう なテストがある。 ⇒測定結果は、メーカーの発行するスタ ータ毎のテスト基準により良否判断 される
P102	4)-①	無負荷時の最高回転速度と電流 を見る	⇒無負荷時の回転速度と電流を見る
P102	4)-(1)	(1) 無負荷特性テスト 「スタータを固定して・・・分解 整備を行う。」までを省いて右の 説明に変更	⇒図4-29のように結線し、負荷(ブ レーキ)をかけない状態でSを閉じて スタータを起動させ回転が安定した ところで回転速度、電圧値、電流値を 測定する。 電流が大きすぎたり回転速度が低す ぎたりするときは、一般に・・・整備 を行う

P102	4-(2)	(2) 拘束特性テスト 「スタータが回転しないように・・・トルクが不足する場合は」 までを省き、右の説明に変更	⇒ピニオンに任意の負荷（ブレーキ） をかけることのできるベンチを用い、 図4-30のように結線し、Sを閉じて スタータを起動させたのち、負荷をか け回転速度が0（ピニオンがロック） になった時の電圧、電流、トルクを測 定する 規定の電圧にて電流が小さくトルク が不足するときは、ブラシ…原因であ る場合が多い
P103	4-(3)	(3) 負荷特性テスト 「図4-31のようにピニオン に・・・点検する」 までを省き、右の説明に変更	⇒ピニオンに任意の負荷（ブレーキ）を かけることのできるベンチを用い、図 4-31のように結線し、Sを閉じてス タータを起動させたのち、ピニオンに 任意の負荷（ブレーキ）をかけ、規定 の電流値になった時の電圧、トルク、 回転速度を測定する
P117	図4-65	セラミックス型グロープラグ	⇒セラミックス型グロープラグ
P124	右側2行目	間隙	⇒隙間
P125	2) 4行目	火花間隙	⇒火花隙間
P125	2) 5行目	圧縮工程	⇒圧縮行程
P130	(2) 5行目	希薄混合気	⇒希薄混合気
P142	図6-6	すれ違いユニット（型式1）	⇒走行用ユニット（型式1）
P142	右側6行目	デイマスイッチ	⇒デイマスイッチ
P163	※記録紙 ①	① 自動車が行った時刻と速 さ	⇒自動車が行った時刻とその時の 速度
P163	〃 ②	② 自動車が行った時刻と時 間	⇒自動車が行った時刻と経過時間
P188	8-4タイトル	制御装置	⇒制御
P188	8行目	制御装置	⇒制御
P188	表8-1	表8-1 主な制御装置	⇒制御
P236	10) 1行目	コモンレール式ディーゼル	⇒コモンレール式ディーゼル
P236	10) 3行目	ディーゼルエンジン	⇒ディーゼルエンジン
P236	10) 9行目	ディーゼルエンジン	⇒ディーゼルエンジン

※平成27年8月20日以降出荷分からは、訂正が完了しております